

第 19 在宅医療等推進事業

誰もが住み慣れた地域で、できる限り活動的でいられることをめざすとともに、医療依存度が高い状態でも、地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉が一体となって生活を支える体制づくりに努めています。

1 地域連携クリティカルパス開発事業

医療機関から在宅に安心して戻る切れ目のない医療を提供するために、医療機関の機能分担と連携を図るツールとして地域連携パスについて運用が進んでいます。

当圏域では、平成25年度に、脳卒中県内統一パス様式の活用について、高島市医療連携ネットワーク運営協議会で協議後、運用を開始しています。

(1) 急性期・回復期病院ヒヤリング

① 今津病院ヒヤリング

日 時 : 平成26年10月6日(月) 午前11時～12時

内 容 : 回復期リハビリテーション病棟の現状について

高島市民病院からの紹介、回復期病棟転院の状況について

② 高島市民病院ヒヤリング

日 時 : 平成26年11月17日(月) 午後13時半～14時半

内 容 : 脳卒中クリティカルパスの現状・課題の確認

(2) 研修会の開催(高島市医療連携ネットワーク運営協議会と併せて開催)

開催日 : 平成26年9月17日(水) 午後3時～4時 今津老人福祉センター

内 容 : 「成人病センターから湖西医療圏への連携の現状と課題」

講師 : 滋賀県立成人病センター 地域医療連携室 吉田千晴 氏

参加者 : 22名

2 在宅ホスピスケア推進事業

終末期を迎えても、本人・家族が希望すればできるだけ住み慣れた家庭や地域で、最期まで安心して暮らせるように、切れ目のない医療福祉の連携、推進に努めました。また平成24年度より高島地域医療福祉ビジョン(平成24年2月策定)に基づき、医療福祉を推進する高島地域協議会を設置し、市や医師会・歯科医師会等関係機関・団体とともに、在宅ホスピスケア事業の推進を図っています。

(1) 湖西地域在宅ホスピスケア推進会議

医療福祉を推進する高島地域協議会

開催日 : 平成26年8月7日(木) 午後1時半～2時半 高島保健所2階大会議室

平成27年3月16日(月) 午後2時～3時 高島保健所2階大会議室

メンバー : 医師会長・理事、3病院関係者、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、

訪問看護ステーション、介護支援専門員連絡協議会、介護サービス事業者

協議会、住民代表、市

内 容 : 在宅医療福祉の推進事業について

(2) 医療福祉を推進する講演会

テーマ : 「住み慣れた地域での療養、看取りを考える」

開催日 : 平成27年3月18日(水) 午後3時～4時半 新旭公民館 多目的ホール

内 容 : 講演「いのちと向き合う～ホスピスでの経験からのメッセージ～」

講師 京都大学大学院医学研究科教授 田村 恵子 氏
参加者：124名

(3) 在宅医療介護従事者研修会（高島市在宅医療推進事業との共催）

＜第1回＞

開催日：平成26年12月19日（金）午後7時半～9時半

内 容：「高島市在宅医療連携推進事業について」

報告者 高島市医師会理事・マキノ病院長 森田 豊 氏

「地域医療魚沼学校の取り組み

～新潟県魚沼地域における住民とともにつくる地域包括ケア～」

講師 地域医療魚沼学校長（新潟県立小出病院院長） 布施 克也 氏

参加者：医療介護福祉関係者 71名

＜第2回＞

開催日：平成27年1月31日（土）午後1時半～4時 安曇川公民館カルチャーセンター

内 容：「高島市在宅療養に関する実態調査結果」

報告者 高島市北部健康いきいき応援センター 古谷 靖子 氏

「わがまちの在宅医療を推進する上での課題と解決策」グループワーク

参加者：医療介護福祉関係者 46名

3 がん患者支援事業

滋賀県がん対策推進計画に基づきがん対策の推進を図るとともに、湖西圏域には、「がん診療連携拠点病院」「がん相談支援センター」がないことから、5年前より保健所が中心になり相談支援・情報提供等を行った。がん診療連携拠点病院のがん患者サロンについては滋賀県がん患者団体連絡協議会の協力を得て開催し、市や高島市民病院からの参加も得られた。

(1) がん市民講演会の開催

開催日：平成26年11月2日（日）午前10時～12時

場 所：高島保健所 2階大会議室

内 容：講演「薬の基礎知識～抗がん剤の上手な付き合い方」

講師 滋賀県立成人病センター 薬剤師 大辻 貴司 氏

参加者：一般市民、ピアサポーター、

高島市民病院（院長・地域医療連携室スタッフ）、市職員

41名

(2) がん患者サロン「ほっと湖西」の開催

開催日：毎月第2火曜日 午後1時半～3時半

場 所：高島市民病院 検診センター3階小会議室

参加者：患者延べ22名、家族延べ2名、ピアサポーター等延べ66名

内 容：語り合い等